ブラジル大統領選等の結果（速報的に）

2026 年 11 月 2 日

文責：山崎圭一　横浜国立大学大学院国際社会科学研究院・教授
日本 AALA 連帯委員会国際部長・常任理事

１　大統領選の得票率

2026 年 10 月 4 日（日）にブラジルでは連邦大統領選、連邦議会選（上院、下院）、州議会選（一院制）および州知事選（ブラジリア連邦特別区含む）があり（市町村以外の総選挙）、大統領選については、ルラ 45.16%、フラヴィオ（Flávio Bolsonaro）47.03%で、フラヴィオが勝ちました。両候補とも敬称としての「氏」は省略します。

どの候補も過半数に届いていない場合は（知事選も同様）、上位 2 名の決戦投票となります。そこで 10 月 25 日（日）に決戦投票（ポルトガル語：第二ターン、o segundo turno）があり、現職のルラ大統領が逆転勝利しました。ルラが 51.79%を得票し、フラヴィオは 48.21%でした。投票率は 1 回目は 8 割弱、2 回目（決戦投票、州知事選にも適用）は 8 割で、過去とあまり変わりません。なおルラは決戦投票直後の 27 日（火曜日）に、81 歳になりました。フラヴィオは 45 歳です。

２　ルラ逆転勝利の要因１：票数の変化から

表１　2026 年 10 月ブラジル大統領選の得票数　（単位：人）

	1 回目　4 日	決戦　25 日	変　化
投票者数（白票、無効票を含む）	125,275,835	128,236,074	2,960,239
有効投票数	119,300,788	124,082,273	4,781,485
白票（em branco）	2,300,798	1,430,496	-870,302
無効票（nulos）	3,674,249	2,723,305	-950,944
棄権者（投票所に行かなかった人）	33,469,244	30,509,005	-2,960,239
ルラの得票数（1）	53,879,538	64,256,232	10,376,694
フラヴィオの得票数（2）	56,104,503	59,826,041	3,721,538
その他の 10 の候補者の得票数	9,316,747	ー	
差（1ー2）	-2,224,965	4,430,191	

出所：ブラジル選管当局のウェブサイトの情報から、筆者作成。
選管当局のウェブサイトは以下：https://resultados.tse.jus.br/oficial/app/index.html#/eleicao/6258/uf/br/cargo/1/vis/nominal/resultados。

基本的な数値を確認しておきますと、決戦での得票数の差は 3.58%。ブラジルの人口は約 2 億 1420 万人、有権者数は 158,745,502 人。その他は表１をご覧くださ

い。1 回目の投票は、ほかにも 10 人の候補がいましたが、省略します。

逆転の要因分析はすぐにはできませんが、1 回目の投票は、棄権者が約 3300 万人いて（注1)、ルラ陣営は決戦投票では投票所にいくよう働きかけました。決戦では棄権者が約 296 万人減っています。つまり約 300 万人多く、投票所に行きました。それがルラに有利に働いた可能性があるというのが、逆転の説明の 1 つです。しかし、それだけでは数があいません。

1 回目から 2 回目にかけてルラは約 1040 万票増やし、フラヴィオも約 370 万票増やしています（表１の変化の列を参照)。2 人あわせて約 1410 万票増えていますが、この 1410 万票の奪い合いにルラが勝利したわけです。これはどこから来たのか、ですが、以下のような事情ではないかと思います。

1）1 回目の「その他の 10 人の候補者」に投票した人たちの約 932 万票。

2）1 回目に投票所にいかなかったが、決戦では行った人の約 300 万票。この人たちは、概ね、白票や無効票（間違った番号を打ち込むなど）ではないと考えられます。1 回目は投票所に足を運ばなかったのに、決戦では行ったわけですから、白票や無効票にしないのではないでしょうか（あくまで私の憶測)。

3）1 回目白票か無効票（意図しない打ち間違い含め）だった人が、2 回目は正しい番号を打ち込んだ。それが約 182 万票です（決戦投票では、白票が約 87 万票減り、無効票が約 95 万票減った)。

932＋300＋182＝1414 で、さきほどの約 1410 万票と辻褄があいます。この約 1410 万票の、いわば「新規」の奪い合いにルラが勝利したというのが、逆転の要因ではないでしょうか（表１の薄緑部分と薄ピンク部分の合計数がほぼ一致する)。つまり、10 月 5 日から 24 日までの選挙活動の追い込みの効果でした。その中身は、まだ分析できていませんが、歴史的な逆転劇でした。ブラジルのニュース動画をみていると、みなさんコメンテイターも驚いていて、「なぜ？どのように？」と、いろいろ分析を試みています。

３　ルラ逆転の要因２：市町村の違いなど、その他の考察

決戦投票では、投票終了時間が、終了の直前、数分前に、2 時間、全国的に延長されました（17 時から 19 時へ変更)。これは異例のことですが、両陣営が要望したことです。ルラ陣営はバスが少なく投票所にいけないという事情を、ボルソナロ陣営は豪雨と洪水で投票所にいけない事情を、それぞれ訴えました。この延長がいずれかの陣営の勝敗に影響したかどうかですが、影響はなかっただろうと現時点では報

1　ブラジルの投票は電子投票で、1 つの投票機で、今回であれば、5 つ分の投票をおこなう（ただし上院議員は 1 人の投票者が 2 人選ぶので、ボタンを押す回数は 6 回)。「白票」のボタンはあるが、「棄権」のボタンはない。選びたい候補者の番号を入力するが（入力後画面を確認して、確定ボタンを押す)、ミスか、またはあえて、存在しない番号を入力・確定した場合は、無効票となる。「無効票」のボタンがあるわけではない。この「棄権者」数は実際に投票所に行かなかった人の数である。

じられています。時間延長でふえた投票数は 35,000 票未満だったのですが、ルラは 443 万票以上フラヴィオを上回っていたので、結果を変更するような影響はありえないわけです。

ルラは勝利確定後、「嘘の敗北（a derrota da mentira）」（嘘つきが負けたという意味）だと、彼の見解を発表しました。選挙中のフラヴィオの発言（2 人が対峙したテレビ討論会を含む）に虚偽が多かったというルラ陣営の認識を表現したものです。

より詳しい分析としては、CNN Brasil の番組が約 5570 ある市町村毎の変化をとらえた地図を出して、解説しています（ポルトガル語による YouTube 動画 https://youtu.be/rE-f8UrQuSc?si=M6lTFdjwidiWetZX）。「変化」というのは、10 月 4 日の 1 回目の投票ではフラヴィオが勝利したが、25 日の決戦投票でルラ勝利に覆ったという変化のことです。大まかにいえば、サンパウロ市、リオ・デ・ジャネイロ市、ポルト・アレグレ市、サルヴァドル市、レシフェ市などの 213 の市町村でルラが逆転し、反対にベロオリゾンテ市、ヴィトリア市、フロリアノーポリス市、マセイオ市でフラヴィオが逆転しました。とくに、日本でいえば東京、大阪にあたる巨大都市のサンパウロ市とリオ・デ・ジャネイロ市でルラが逆転したことは、全国的なインパクトをもったといえます。

ルラは高齢というマイナス面がありますし、フラヴィオは「トランピアン」（トランプ大統領の政治姿勢を支持する人）の度合いが高いというマイナス面があります。「トランピアン」だからフラヴィオが好きだという人も多いと思いますが、度合いが高すぎると、ブラジル社会ではマイナスだろうと思います。わたしの友人で左派の人も、ルラの高齢は気にしていました。いずれにせよ、ブラジルの有権者は難しい判断を慎重に下した、ということではないでしょうか。443 万票も差がついているので、有権者全体の、明確で重い判断のように思います。

４　ボルソナロ親子の動向

フラヴィオ・ボルソナロ候補は連邦上院議員で、ジャイル・ボルソナロ前大統領の 4 人の子（全員男子）の長男です。直後に米国へ、脱出しました（資金洗浄の容疑で捜査対象、米国政府が VISA を発給）。父親のジャイル・ボルソナロ自身は、現在 27 年 3 ヶ月の実刑判決により、自宅軟禁中です。刑務所から自宅軟禁への変更は、連邦最高裁の、病気を考慮した人道的判断によります。実刑判決は、2022 年の大統領選で負けたあとの、23 年 1 月 8 日の「三権広場」（国会、大統領府、最高裁判所）の襲撃事件への責任などを問われたものです。

５　連邦議会選挙の結果：一段と「右傾化」が進む

連邦議会選挙の結果と変化は表２のとおりです。上下院とも、右派の PL が顕著に伸びました。下院では、中道右派とされる União と PP がそれぞれ 4 議席、6 議席後退しましたが、依然として 46 議席、41 議席と、重要な勢力を維持しています。州知事も保守派の知事が多いという状況です。すなわち 26 州と州都ブラジリア（連邦特

別区）のうち、バイア州、セアラ州、ピアウイ州、リオ・グランデ・ド・ノルチ州の 4 州で、左派 PT の知事となりました。他方 6 州で右派 PL、4 州で同じく保守派の REP の知事、4 州で中道右派の PP の知事が選出されています。

市町村も右派が多いので、ブラジルは全体としては、「右傾化」が進んでいます。ただ、右傾化の意味については慎重な考察が必要で、右派の中には中道右派を含む場合も多く、では「中道右派」とは何かという問題が残ります。また、日本のような米国隷従型右派なのか、そうでないのか。君主制を求めるような右派なのか、違うのか。宗教やスピリチャリズム（神との通じ合いなど）との関連性など、検討すべきことがらが多くあります。資本主義の暴走への懸念を共有できる右派（左派が共闘できる右派）もありえますから、それらは今後の研究課題です。右派、左派の区別は結構難しいです。

表２　ブラジル総選挙（市町村以外）の結果：連邦議会

連邦下院				連邦上院			
政党略称	選挙前	選挙後	変化	政党略称	選挙前	選挙後	変化
PL	98	121	23	PL	15	28	13
PT	66	70	4	PT	9	9	0
UNIÃO	50	46	-4	MDB	9	8	-1
PSD	48	43	-5	PP	8	6	-2
PP	47	41	-6	REP	6	6	0
REP	42	41	-1	PSD	14	5	-9
MDB	38	36	-2	UNIÃO	3	5	2
PODE	27	27	0	PSB	7	4	-3
PSB	17	15	-2	NOVO	0	3	3
PSOL	13	14	1	PSDB	4	2	-2
PSDB	17	11	-6	PODE	3	2	-1
PCdoB	11	11	0	PDT	1	1	0
NOVO	5	10	5	Sem partido	1	1	0
PV	6	7	1	REDE	0	1	1
PDT	9	6	-3	AVANTE	1	0	-1
AVANTE	5	5	0				
PRD	3	5	2				
SD	4	2	-2				
REDE	3	1	-2				
MISSÃO	1	1	0				
CID	2	0	-2				
DC	1	0	-1				
合　計	513	513		合　計	81	81	

出所：O Globo G1 のウェブサイトの情報より筆者作成。

https://g1.globo.com/politica/eleicoes/2026/apuracao/presidente.ghtml

すべての政党略称の和訳は省略しますが、主な政党だけ紹介しておきます。

PT：労働者党（ルラ大統領の政党）／PL：自由党（ボルソナロ前大統領の政党）／REP：共和主義者党／União：ブラジル連合／PP：進歩党（中道または中道右派）。

６　選挙・投票の制度の詳細

連邦下院選挙の選挙区は各州が 1 つの選挙区という「大選挙区制」で、議席数は州によって異なり、セルジッペ州やロライマ州などの 8 人から、最大のサンパウロ州の 70 人まで多様です。選挙方法は、非拘束名簿式（an open list system）の比例代表制（日本の参議院の「比例区」と同じ）ですので、各政党は政党として獲得した票がおおければ、それだけ多くの議席を得ます。政党ごとの議席数の確定には日本のようにドント方式を使う国が多いと思いますが、ブラジルの場合はブラジル独自の複雑な計算方法を採用しており、決定過程の一部にドント方式を活用しています。これについては詳しい論文があります（Brunello and Nakano 2015）。

政党ごとに確定した議席数に対して、どの候補者を当選者とするかですが、非拘束名簿式では、得票数の多い候補から順に当選者にしていきます。各候補の得票数がなぜわかるかというと、投票者は政党を選んでもいいし、候補者を選んでもいいからです（日本の参院選の「比例区」と同様）。

電子投票機はポルトガル語で「Urna Eletrônica（ウルナ・エレトロニカ）」といわれる機械ですが、連邦下院議員と州議員の投票については、政党を選んでもいいし候補者を選んでもいいように、設計されています。どうなっているかというと、連邦下院の候補者は 4 桁の数値がわりあてられ、最初の 2 桁が政党を意味します。もし、政党名だけを投票したい人は、2 桁だけを入力して、確定ボタンを押せばいいのです。ここで 1 つの疑問がわくでしょう。4 桁だと、1 つの政党が 99 人の候補しか出せないことになります。仮想例ですが、ある政党の番号が 23 だとすると、その政党の候補者は 2301～2399 までの 99 人までしか擁立できないことになります。

サンパウロ州という「大選挙区」の議席数は 70 議席で、候補者は膨大な数で、今回は 1,131 人でした（情報源：CNN Brasil　https://www.cnnbrasil.com.br/eleicoes/veja-a-lista-dos-candidatos-a-deputado-federal-em-sao-paulo/）。1 つの政党が、99 人をこえた候補者を出すのではないか？すると、4 桁制限と辻褄があいません。実は、ブラジルの選挙法では 1 つの政党は、その選挙区の議席数プラス 1 までしか、候補者を立てられないのです。なので、最大の大選挙区であるサンパウロ州では、1 つの政党は 70＋1 で、71 人までしか連邦下院議員の候補者を立てられないのです。それでもブラジルは多党社会なので、サンパウロ州だけで、連邦議会下院選挙で今回 1,131 人の候補者がいたわけです。したがって候補者番号は 4 桁で間に合うのです。制度がこのようにつくられているので、政党名だけを選ぶ人は、最初の 2 桁だけを入力すればいいのです。候補者名をいれる人は 4 桁の数字を入力します。

なお政党を選ぶ場合、「政党への投票」といい、ポルトガル語は「voto na

legenda」といいます（注2）。

サンパウロ州での連邦下院議員選挙では、今回 1,132 人も候補者がいましたが、それでも 1 人の投票者は 1 人（または 1 つの政党）だけを選びます。ちなみに連邦上院については、1 人の投票者が今回 2 人選びました。連邦上院は 3 分の 1 が改選のときと、3 分の 2 が改選の年があり、今回は後者だったので、各州 3 人のうち 2 人が改選となったわけで、それで投票者 2 人を選びました（比例代表制ではないので、政党は選ばない）。連邦上院の任期は 8 年です。

投票機を使って、次の順番で投票を進めます：①連邦下院議員→②州議会議員→③連邦上院議員 1 人目→④連邦上院議員 2 人目→⑤州知事→⑥連邦大統領。1 回おわれば、投票機の画面がきりかわって、次に進みます。種類としては 5 つですが、6 回選択したわけです。政党を選べるのは（比例代表制）、①と②です。

電子投票機の写真を選管当局発行の選挙ガイドブック（TSE 2026）の表紙からとったので、以下に掲げました。右端の上から白票（白色）、訂正（赤）、確定（緑）のボタンです。



参考文献

- Brunello, Gabriel Hideki Vatanabe and Eduardo Yoshio Nakano (2015) “Bayesian Inference on Proportional Elections” *PLoS ONE,* Vol. 10/ Num. 3　DOI:10.1371/journal.pone.0116924
- TSE(2026),*Practical Guide 2026 Elections*, Brasília: TSE（Tribunal Superior Eleitoral
https://international.tse.jus.br/en/elections/practical-guide-2026-elections.pdf/view

---

2 「legenda」というポルトガル語は、政治以外の文脈では字幕、キャプション、ラベルなどを意味しますが、政治の文脈では政党を指します。字幕やラベルを意味する legenda がなぜ政党を意味するかというと、ブラジルの政党はすべて、PT や PL などの略字いわばラベルを使うので（法的義務）、政党のラベル（legenda）から派生して、＜ラベル（legenda）への投票→政党への投票＞と意味するようになったのです。

「legenda」は英語のレジェンド（伝説の人）と発音が似ていますが、とりあえずは無関係です。英語のレジェンドにあたるポルトガル語は lenda で、一応別ものです。＜政治家は偉そうにしていて、みな自分は伝説の人だとほら吹きで、それで政党を legenda というのか＞と、わたしなど、早とちりしそうになりますが、これは私がいま作ったデタラメな解説で、間違いです。ただし別ものといっても、legenda と lenda は、語源的にはつながっていて、いずれもラテン語の legere（読む）から派生した語です。